

高松市内最後の行進に、飛び入り参加者 最後に挨拶も！

琴電円座駅のいつもの挨拶者が不在で公森の娘さんがあいさつ。母に代わってと断り、平和について歩きながら考えることが大切とズバリ一言だったがキリッとした挨拶でした。そのあと今日の行程について、いつものコースを勅使町で旧道は歩道がないから、新道に変更することを説明しました。

途中の休憩所では、みんなでアイスクャンディーをいただき出発。今日のトピックは、なんと西はぜ町から飛び入り参加者が。終結集会で「私は医療生協の班員で昔広島にいた」と挨拶してくれました。参加者の医療生協の大山君が、ビラをまいたのが実ったと喜んでいました。小池専務さんが労をねぎらった後、高松では港に加え空港も指定が噂されていると、忍び寄る戦争の足音をみんなで止めようと終結あいさつ。飛び入り参加者の名前を聞きそびれたのがなんとも残念です。



円座駅で「青い空は」を歌って
からスタートしました。

コムコム会館前での終結集会

